

分野①伝統行事・文化

## 泊貝がら節保存会（泊貝がら節の保存・伝承）

### <概要>

住 所 東伯郡湯梨浜町泊  
（湯梨浜町中央公民館泊分館）

代表者 米村 敏男

事務局 浜家 満

構成員 会員 35 名・小学生 14 名  
（参考）

泊地区の概要（平成 22 年国勢調査）

- ・人 口 846 人
- ・世 帯 数 297 戸
- ・高齢化率 31%



### <取組の概要>

- ・「泊貝がら節」と踊りの維持、保存、普及に努め、郷土文化の発展を図っている。
- ・定期的に町内の各種イベントに出演している。  
グラウンドゴルフ発祥地大会（6 月）、保育園の七夕祭（7 月）、ハワイ郡中学生交流会（10 月）、湯梨浜町芸能大会（11 月）等に出演
- ・過去の資料収集を行い、「泊貝がら節記録展」を開催して保存活動に取り組んでいる。

### <取材MEMO（1）>

○取組に至る背景・経緯・目的

- ・貝がら節が唄われ始めたのは約 170 年前江戸時代後期といわれ、イタヤガイ漁に従事した漁師達の激しい労働の中から生まれた労働歌である。
- ・貝がら節の歌い手であった米村たつさんの歌を孫の米村敏男さんが、昭和 39 年にテープに録音していた。このテープを元に、忘れられていた「泊貝がら節」を復活しようと住民が盛り上がった。
- ・昭和 48 年 9 月、泊貝がら節保存会を発足。地域のおぼこ踊りと組み合わせた泊貝がら節ができた。同年 9 月 23 日、泊小学校運動会で児童、保護者、住民など約 400 人で踊りの輪を作り、戦後初めて村内に披露された。
- ・昭和 63 年保存会が自然解散したが、このままでは泊貝がら節が廃るとの思いから、平成 19 年 3 月 4 日に有志が集まり泊貝がら節保存会が再設立された経緯がある。



グラウンドゴルフ発祥地大会にて



平成 23 年  
「とっとり  
伝統芸能まつり」チラシ



平成 23 年 11 月 NOSAI  
「CLOVER」より

分野①伝統行事・文化

## 泊貝がら節保存会

### <取材MEMO（2）>

○取組に工夫・苦労した点

- ・小学校 4～6 年生は地域のイベントに積極的に参加しているが、大会員の参加人数は減りつつある。
- ・横のつながりが希薄になり、参加者の人数確保が難しくなっている。
- ・小学生と 60～70 代の住民で構成されているため、会員の体調に合わせながら練習を行うなど無理のない活動になるよう工夫している。
- ・イベント参加も声がかかれば参加するようにしているが、リスクを負うようなことがあれば、メンバーの負担を考え、参加を見送るケースもある。

○取組の成果

- ・「泊貝がら節」は太鼓のみのシンプルな労働歌。それだけに「はやし」（かけ声）は重要なポイントになっている。今年はその「はやし」に取り組んでくれる方が 3 名増えた。
- ・平成 19 年 12 月湯梨浜町「無形民俗文化財」に指定された。



米村 敏男 会長

### <代表者から一言>

鳥取県内で港のあるところには「貝がら節」は多く存在する。この土地は古くから貝が食や漁に関わっていて、生活と切っても切り離せない。江戸時代から伝わる漁師たちの労働歌としてはもちろん、「泊貝がら節保存会」をたちあげるきっかけとなった地元の民謡を後世に伝承していきたい。

・平成 23 年 7 月には、鳥取県の第 2 回「とっとり伝統芸能まつり」に参加し、「伝統芸能功労団体賞」を受賞した。



平成 23 年とっとり  
伝統芸能まつりにて

### <取材MEMO（3）>

○今後の取組内容・長期的な目標

- ・継承していくには、小中学生の親世代のメンバー獲得と育成に力を入れていく必要がある。
- ・泊の伝統ある「貝がら節」を絶やすことなくたくさんの人に知ってもらい、あらゆる場面で披露する機会を増やしたい。



グラウンドゴルフ  
発祥地大会



練習風景

### 取材を行っての感想など一言コメント

米村さんのおばあちゃんだけでなく、当時この唄を口ずさんでいたこの地域のご先祖さまは、空の上で子ども達のかわいい歌声を聞いているのかもしれない。

### 市町村役場の連絡先

〒 682-0723 鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留 19-1 生涯学習 人権推進課  
電話：0858-35-5304 ファクシミリ：0858-35-3245